

社内改革の起爆剤

—水なし印刷を語る—

(株)ウエマツ 北東工業(株)
福田 浩志 社長 / 東條 秀樹 社長

対
談

北東工業(株)(本社・大阪市中区)は、廃棄寸前の老朽化した印刷機を水なし印刷によってリノベーションした(株)ウエマツ(本社・東京都豊島区)の戸田工場の見学を機に、今年1月に水なし印刷技術を導入。老朽化した印刷機を蘇生させることも、品質の安定化、事故率の低減、コスト削減など、当初の期待以上の効果を上げている。その経緯について、北東工業の東條秀樹社長とウエマツの福田浩志社長が意見交換した。

福田 今年1月から水なし印刷を始めたが、実際に運用しての感想は。

東條 画面専用印刷機の機構に起因する問題、とくにファンアクトが大きな問題だった。それが、水なし印刷にしたことでファンアクトが発生せず、見当精度が劇的に向上し、ピタッと見当が合うようになった。

福田 当社も見当不良による焼き直しが増減し、大きなコスト削減につながった。

東條 また、標準化したことで、リピートの仕事でオペレーターが代わりと異なるものが刷れないという経験差によっても発生する事

福田 前に「水あり・油性」で刷ったリピートの仕事を「水なし」で刷ってもクレームはほとんどないので、心配はいらないだろう。



福田 浩志 社長

東條 それに加え、水とこの変動要因がなくなったことで、印刷時の安定性が高まり、突発的な汚れや過乳化による乾燥、色調トラブルがなくなり、オペレーターのストレスが減った。見当の色を確認して刷り出したらもう変動がないので、事故率低下にもつながった。

福田 印刷は早くも水の多くは環境対応や高品質変動要因の掛け算なので、立ち上がりも非常に早い。

福田 印刷は早くも水の多くは環境対応や高品質変動要因の掛け算なので、立ち上がりも非常に早い。

福田 印刷は早くも水の多くは環境対応や高品質変動要因の掛け算なので、立ち上がりも非常に早い。

福田 印刷は早くも水の多くは環境対応や高品質変動要因の掛け算なので、立ち上がりも非常に早い。



東條 秀樹 社長

問題が発生する要因は何通りもある。中でも水は大きな変動要因だが、その大きな要因が一つ消えるだけで、問題発生は激減する。水がなくなれば、印刷機をプリンター感覚で扱えるようになる。

東條 当社は現在、関連トに取り組んでいる。水なし印刷を立ち上げながらJapan Color認証を水なし印刷で取得し、さらにオペレーターには印刷技能士の資格を取らせた。みんな大変だったと思うが、楽しんでやってくれた。

東條 印刷会社の仲間仕事を受ける会社として、またネット通販会社としてもっとも求められるのは安定性と事故率の低さだ。最高品質や高付加価値より、いつ誰がどの機械で刷っても同じであることが求められる。そこで、全水なし印刷化、中でも「水なし×LED-UV」に力を入れている。

期待を上回る効果

品質安定、事故率が低減

準備時間短縮は環境に良いし、水を使わなければもっとも交換頻度が高い水着けローラーも不要となる。すべてが環境対応へつながる。

東條 水なし印刷は環境に良いものをお客様のために提供し、信頼を得るためには、基本を固めずしてどうするかというのを改めて教

福田 究極の水なし印刷は水なし×UVだろう。擦れの問題がなく、オペレーターの負担も軽くなる。

福田 印刷は早くも水の多くは環境対応や高品質変動要因の掛け算なので、立ち上がりも非常に早い。

福田 印刷は早くも水の多くは環境対応や高品質変動要因の掛け算なので、立ち上がりも非常に早い。

福田 印刷は早くも水の多くは環境対応や高品質変動要因の掛け算なので、立ち上がりも非常に早い。

福田 印刷は早くも水の多くは環境対応や高品質変動要因の掛け算なので、立ち上がりも非常に早い。

福田 印刷は早くも水の多くは環境対応や高品質変動要因の掛け算なので、立ち上がりも非常に早い。